

災害救助法 弾力的運用を 豪雪災害で 市内全域に適用

1月7日午後から降り始めた雪は、11日まで降り続き、高田では8日午前8時から11日午前8時までの72時間降雪量が178cmと、観測史上最大を記録しました。

このため、市内各地では、12日現在死亡者3人、倒壊

家屋4棟など大きな被害が発生しています。

10日には、災害救助法が適用になり、要援護者除雪費助成の上限額が拡大されるなど、国としての手立ても取られています。

異常とも言える降雪に道路の除雪が追いつかず、多くの道路で通行に支障を来すなど、市民生活に大きな影響を与えているほか、住宅の屋根の雪で倒壊や破損の心配が高まっています。



どのお宅も雪にすっぽり覆われています(南城町)



雪ですっぽり埋まった上下浜駅。踏切から。



南本町繁華街も1車線がやっとで歩行者も命がけ



ごみ収集車もスタックし、脱出まで数時間かかったようです(南新町)



直江津駅近く。直江津でも1.5メートルの積雪



排雪まったなしの吉川区原之町(10日)

市に対して2度の申入れ

災害救助法が適用された中、被災者が確実に救助されることが求められています。当議員団は市に対して、2回にわたり、次の趣旨による申入れを行いました。

- 災害救助法適用に関する市民への情報提供をより適切に行うこと。
- 災害救助法の下、除排雪の支援は、要援護世帯だけでなく、弾力的な運用を行って、支援の必要な人すべてを対象にすること。
- 要援護世帯のうち、申請していない市民への案内を丁寧に行い、漏れ落ちのないようにすること。
- 集落内道路、町内会館等の除排雪も救助の対象にすること。
- 災害救助法の日限が19日まででは除雪要望に応えられないことから、適用期間を延長するなど柔軟に対応できるように国に求めること。

豪雪のため、しんぶん赤旗の配達体制が混乱し、欠配などが続いていることを心からお詫びいたします。一刻も早い復旧に努めておりますのでどうかご理解ください。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.690 2021年1月17日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

上越保健所管内感染症患者発生状況

(1月7日現在)

PCR検査実施件数 3,422件(前週+70)
感染症患者数 26人(上越市内22人)
陽性率 0.76%